

授業参観：園芸科「農業と環境」「総合実習」と普通科「日本史A」

2022.1.20「授業参観：農業と環境『有害生物の管理について知ろう!』」

1月20日(木)1限目に1年D組の教室で行われた園芸科1年農業と環境の授業を見学しました。この時間の学習内容は、「有害生物の管理について知ろう!」でした。授業の導入部分では、有害生物とは何か、病気の種類と大きさ、病害虫について、雑草が起こす問題についてプリントとパワーポイントを使いながらテンポよく復習を行いました。本時の展開部分では作物に害を与える害鳥・害獣について、害を与えるだけなのかを整理しました。次に、有害生物防除のための5つの手法について、校内での実習を参考にしながら整理をしていきました。



2022.1.20「授業参観：日本史A『アジア太平洋戦争』」

1月20日(木)2限目に3年A組で行われた日本史Aの授業を見学しました。この授業の学習内容は、「アジア太平洋戦争、大東亜共栄圏」についてでした。なぜ戦争に至ってしまったのか世界地図や背景を確認していきました。戦争当時の映像も使いながら戦争開始からB29による本土攻撃に至るまでについて学習をしていきました。



2022.1.20「授業参観：総合実習『日本の農業はどんな特徴を持っているのか?』」

1月20日(木)3限目に1年D組の教室で行われた園芸科1年「総合実習」の授業を見学しました。この時間の学習内容は、「日本の農業はどんな特徴を持っているのか」でした。日本の各都道府県ではどのような作物の生産量が多いのか、渡辺教諭手作りのカードゲームでグループごとにゲームをしながら作物の生産量が多い都道府県と生産量が少ない都道府県はどこなのかなどを楽しく学んでいました。カードの札は2種類あり、1つは、生産作物と生産量が書かれた都道府県カード(47枚)、もう1つは、作物(野菜・果物)が書かれたカードでした。ルール概要は、10枚の都道府県カードを手持ち札として、机上の中央に置かれた作物カードをめくり指定された作物の生産量が書かれている持ち札をグループメンバーと同時に机上に置きます。生産量が一番多かった都道府県カードを持っていた人が勝ちとなり、作物カードをもらえます。10回繰り返して、作物カードが一番多く獲得した生徒が勝ちとなるというゲームです。回数を重ねるごとに白熱していきました。都道府県名や各都道府県でどのような作物の生産量が多いのか学べるカードゲームでした。



ルール説明をする渡辺教諭



ゲーム中の生徒



作物カードの1例



都道府県カードの例